

「(仮称) 茅ヶ崎市感染症予防計画に関する Web アンケート」の結果について

1 概要

●目的

- ・「(仮称) 茅ヶ崎市感染症予防計画」骨子案の公表
- ・計画策定に当たっての住民への意見聴取

●対象

市保健所管内（茅ヶ崎市及び寒川町）に在住、在学又は在勤の方

●回答期間

令和5年10月16日（月曜日）から11月5日（日曜日）まで

●回答方法

- ・アンケートフォーム（e-kanagawa 電子申請システム）により回答
- ・茅ヶ崎市役所及び寒川町役場にアンケート用紙・回収箱を設置

●回答件数

267件

●回答内訳

10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	無回答	合計
0	33	50	59	73	40	10	1	0	1	267

(単位：件)

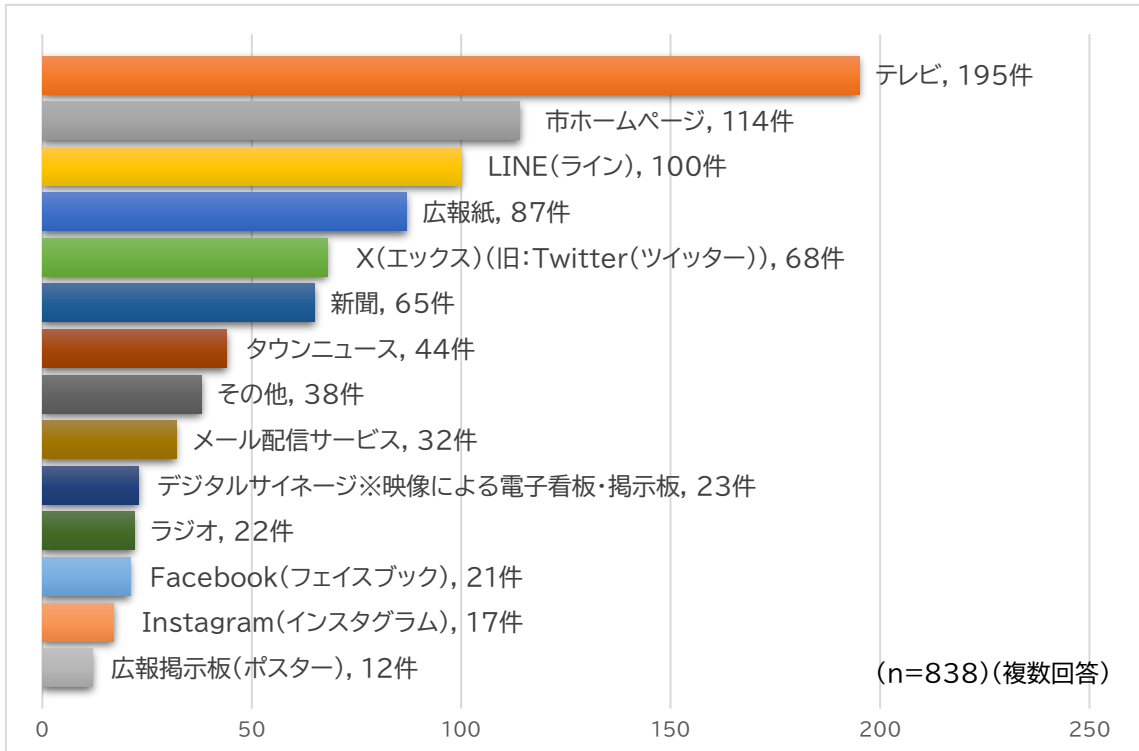
2 アンケート結果の取り扱いについて

アンケート結果は、茅ヶ崎市感染症予防計画（素案）を作成するための基礎資料として活用します。

3 アンケートの結果について

(1) 情報発信について

問2-1 あなたは日頃、どのような媒体から感染症情報を入手されていますか。該当するものをすべて選択してください。



- ・感染症情報について知りたい場合に利用している広報媒体については、「テレビ」(195件)が最も多く、次いで「市ホームページ」(114件)、「LINE」(100件)、「広報紙」(87件)でした。
- ・「その他」として、学校や職場、インターネットでの任意のサイトの検索等がありました。

結果の分析

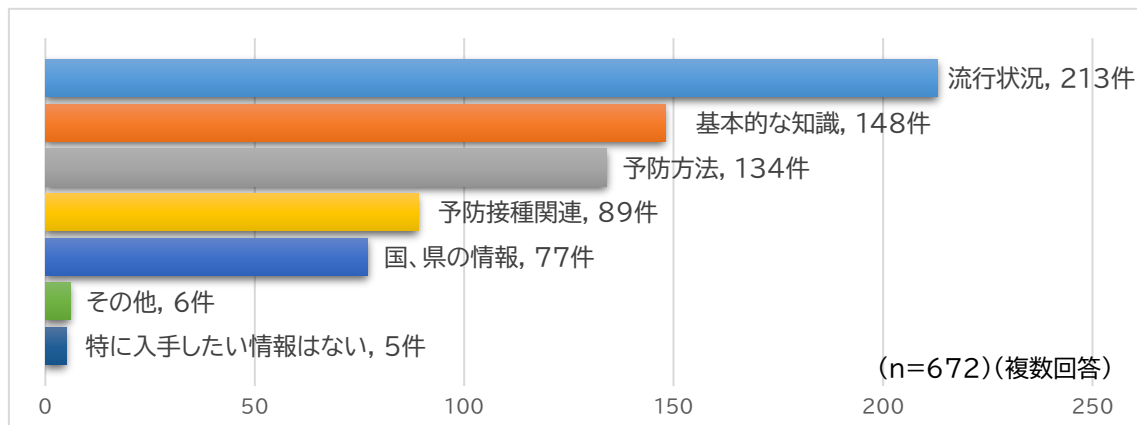
アンケート結果から、市が感染症に関する情報を発信するに当たっては、多様な媒体が利用されていることを鑑み、情報の性質や媒体の利用者層等に応じて、複数の媒体を組み合わせる必要があることがわかりました。

また、市のホームページについて、一定の閲覧数があることがわかったことから、市のホームページの記載の充実を図る等、わかりやすい情報提供に努める必要があります。

さらに、感染症に関する情報は、市が直接行う情報提供以外にもテレビや新聞等様々な媒体で発信されることから、報道機関等に対しては適切に情報提供を行う必要があります。

加えて、誤った情報や不適切な情報により住民が混乱することがないように、市は正しい内容の情報を積極的に発信する必要があります。

問 2-2 感染症に関する情報について、あなたが特に入手したい情報を選択してください。(3つまで)

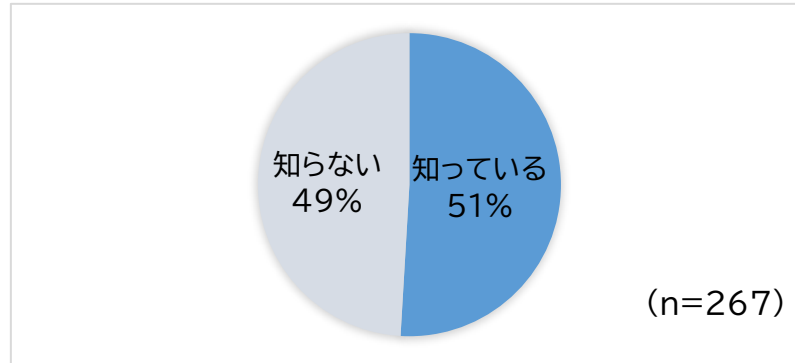


- ・住民が入手したい情報については、「流行状況」(213件)が最も多く、次いで「感染症に関する基本的な知識」(148件)や「感染症の予防方法」(134件)でした。

結果の分析

アンケート結果から、住民が自ら感染症の予防に努めることができるよう、感染症の流行状況等、住民にとって身近な情報が特に求められていることがわかりました。

問 2-3 本市で実施している「感染症発生動向調査」として、管内の感染状況等をまとめた「茅ヶ崎市保健所管内感染症情報」を発行していますが、そのことを御存じですか。



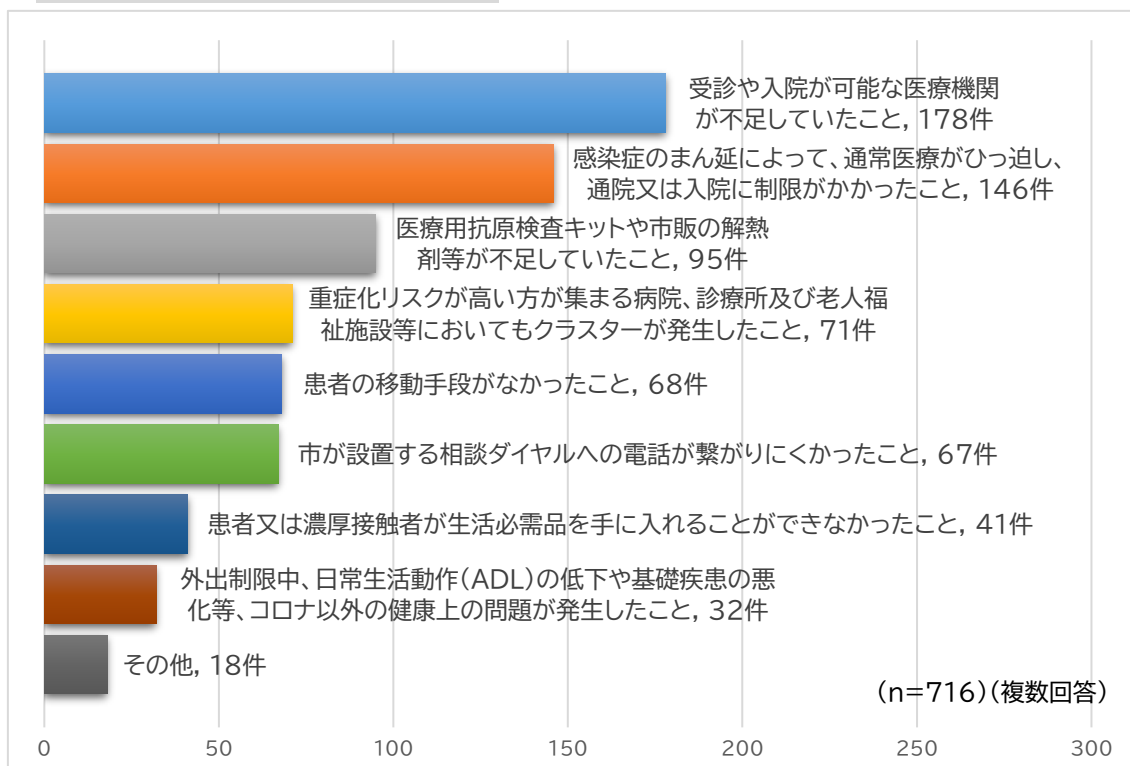
結果の分析

「茅ヶ崎市保健所管内感染症情報」については、回答者のうち約半数が「知っている」と回答しており、一定の認知度があることがわかりましたが、今後についても、感染症のまん延を防止するための日常的な対策として、周知に努めていく必要があります。

(2) コロナ対応における課題について

問3 保健所では、コロナ禍における医療体制について、次のような課題があったのではないかと考えています。

コロナ禍における医療体制の当時の状況を振り返り、あなたが課題だと思ったことを選択してください。(3つまで)



- ・コロナ禍における課題としては、「受診や入院が可能な医療機関が不足していたこと」(178件)が最も多く、次いで「感染症のまん延によって、通常医療がひっ迫し、通院又は入院に制限がかかったこと」(146件)でした。

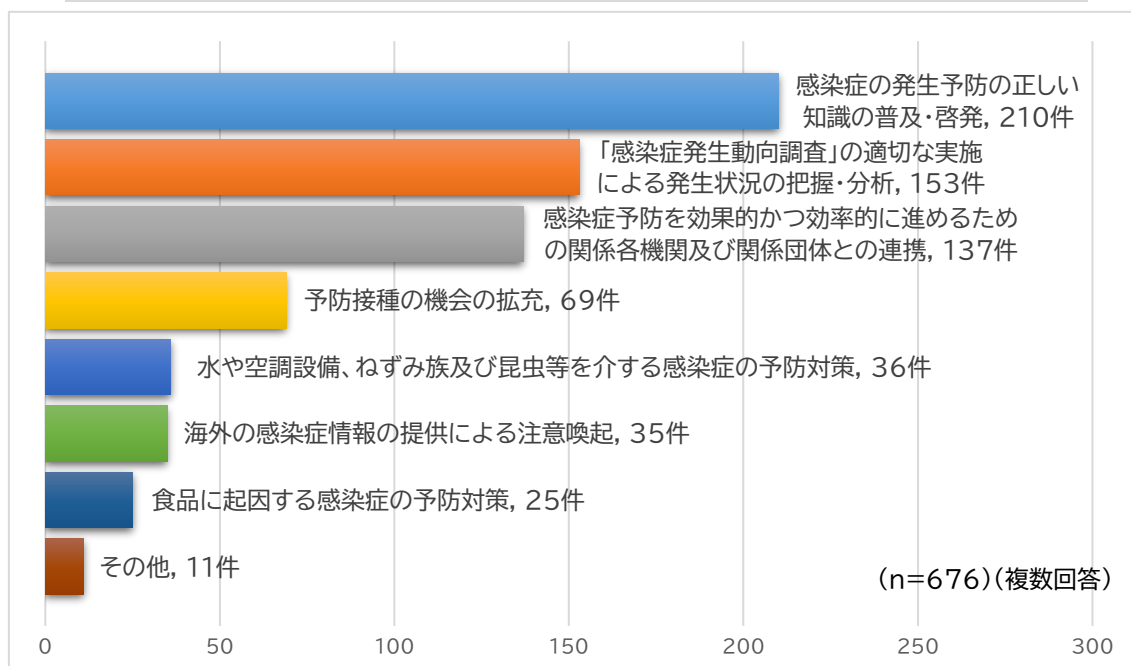
結果の分析

課題として、体調不良時に適切な医療が受けられる体制が確保されていることに特に関心が高いという結果となったことから、計画の策定に当たっては、県と連携し医療体制を確保するための必要性について言及します。

(3) 今後の感染症の発生予防について

問4 本市には、感染症の発生予防として次のような取組が求められています。

このことについて、あなたが本市に求めることを選択してください。(3つまで)



・感染症の発生予防のための取組として、保健所に求められているものについては、「感染症の発生予防の正しい知識の普及・啓発」(210件)が最も多く、次いで「感染症発生動向調査」の適切な実施による発生状況の把握・分析(153件)、「感染症予防を効果的かつ効率的に進めるための関係各機関及び関係団体との連携」(137件)でした。

結果の分析

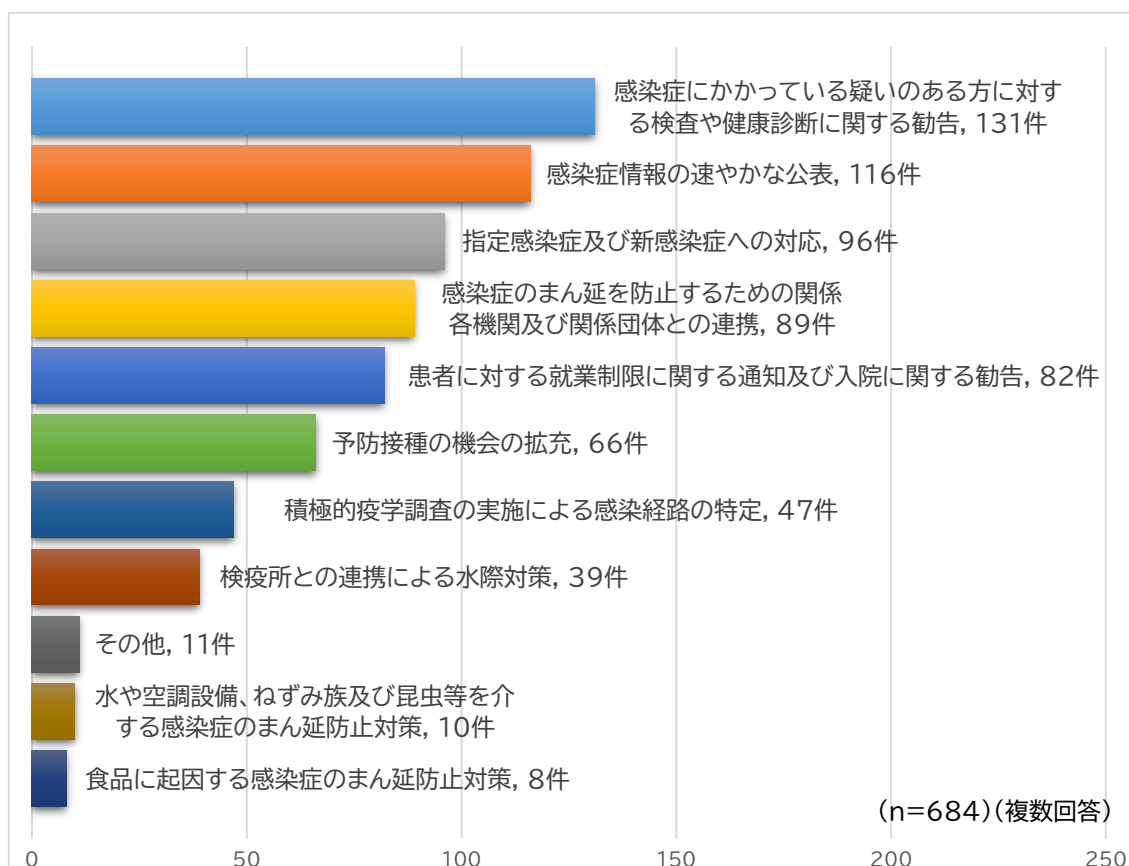
感染症の発生を予防するためには、情報発信と平時から行う感染症発生動向調査による情報収集の体制を適正に運用することが特に求められていることがわかりました。

この場合において、感染症の発生状況を把握・分析し、その予防に関する知識の普及及び啓発を図るためには、感染症の流行状況を迅速かつ効率的に把握することが必要です。

(4) 今後の感染症のまん延防止について

問5 本市では、感染症のまん延を防止するために、次のような取組が重要と考えています。

このことについて、あなたが本市に求めることを選択してください。(3つまで)



- ・ 感染症のまん延防止のため、保健所に求められている取組については、「感染症にかかっている疑いのある方に対する検査や健康診断に関する勧告」(131件)が最も多く、次いで「感染症情報の速やかな公表」(116件)でした。

結果の分析

感染症のまん延を防止するために、検査の実施体制を確保することや健康診断等を適正に実施すること、感染症情報とその即時性も考慮して情報発信をすることが求められています。

(5) 自由意見

問6 (仮称)茅ヶ崎市感染症予防計画骨子案全般に関して、御意見を記入してください。

意見	主な内容	件数
計画全般に関する意見	・具体的で理解しやすい内容としてほしい。 ・内容の検討後、改めて意見聴取すべき。等	11
情報発信に関する意見	・医学的に正しい情報を提供してほしい。 ・感染予防策を広めていくことが大切。等	10
保健所体制に関する意見	・保健所の対応力と人員確保が必要。等	6
民間等への支援に関する意見	・高齢者施設や幼児を持つ家庭への支援を検討してほしい。等	4
関係機関等との連携に関する意見	・関係機関と合同での訓練を行ってはどうか。等	3
web アンケートに関する意見	・一般市民が意見するのは困難だと思う。等	1
その他の意見	—	8

このことについて、計43件の御意見をいただきました。

計画全般に関する御意見が11件と最も多く、次いで市の情報発信に関する御意見が10件ありました。

結果の分析

問4及び問5でも示されているとおり、地域における感染症対策の中核的機関としての保健所は、住民が自ら適切な感染予防対策を講ずるために、状況に応じた的確な情報発信をすることを求められています。

このことから、感染症情報について、その即時性も考慮しつつ理解しやすい内容での情報発信をすることが重要であると考えます。

また、有事の際には速やかに体制を移行できるよう準備しておくことも重要であり、あらかじめ必要となる業務量や人員数を想定しておく必要があります。